

2019 年度 前期

留学生教育・支援センター

【中級Ⅱ】シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
中級Ⅱ 会話	水 4	古本	... 1
中級Ⅱ 作文	水 3	冨田	... 2
中級Ⅱ 読解	木 2・木 3	松本	... 3
中級Ⅱ 聴解	金 2	小谷	... 4
中級Ⅱ 漢字	水 2	岩下	... 5
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムでの各クラスのレベルについて			... 6

2019年度 前期	曜日・校時	水曜日・4校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ会話			
担当教員名	古本裕美	e-mail	furumoto@nagasaki-u.ac.jp	
授業到達目標	<p>(1) 日常生活に関連する話題、および身近で個人的に関心がある事について、楽に自信を持って、積極的にかつ詳細に話すことができる。</p> <p>(2) いろいろなところから集めた情報や議論をまとめ、報告することができる。</p> <p>(3) 日本人に対し、インタビューをスムーズに行うことができる。</p>			
<p>授業概要／毎週毎の授業内容を含む</p> <p>前半は、シャドーイング練習、ニュースのプレゼン、そして会話練習を繰り返します。後半は、日本人の考えや長崎大学事情を知るためにインタビュー調査を行い、その結果を発表します。</p>				
第1週	4/10	オリエンテーション、口頭試験 (1)		
第2週	4/17	「ディスカッションする」		
第3週	4/24	「人の外見や物に関して詳しく描写・説明する」		
第4週	5/8	「事故について詳しく説明する」		
第5週	5/15	シャドーイングテスト (1)		
第6週	5/22	「雑談する (1-1) カジュアルに話す」		
第7週	5/29	「雑談する (1-2) カジュアルに話す」		
第8週	6/5	「雑談する (2) 聞き上手になる」		
第9週	6/12	シャドーイングテスト (2), 「雑談する (3) 1つの話題について掘り下げて話す」		
第10週	6/19	インタビュー調査・発表	1. 計画, インタビューでの日本語	
第11週	6/26		2. インタビューでの日本語&練習, 実施	
第12週	7/3		3. 調査結果のまとめ	
第13週	7/10		4. プレゼンでの日本語&練習, シャドーイングテスト(3)	
第14週	7/17		5. プレゼン準備&練習	
第15週	7/24		6. プレゼンテーション&ディスカッション	
第16週	TBA	口頭試験 (2)		
教科書・教材等	参考『新版 ロールプレイで学ぶ中級から上級への日本語会話』(凡人社)『日本語教師のための日常会話力がグーンとアップする雑談指導のススメ』(凡人社)			
成績評価の方法・基準等	(1) 宿題：25% (2) 口頭試験：10% (3) シャドーイング：15% (4) ニュースのプレゼン：20% (5) インタビュー調査：25% (6) 授業への参加度：5%			
アクセシビリティ	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p><u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>			
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2019年度 前期	曜日・校時	水曜日・3校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ作文			
担当教員名	刃田美有紀	e-mail	miyut@nagasaki-u.ac.jp	
授業到達目標	書き言葉が使えるようになる。自分が伝えたいことを、構成を考えて書けるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
第一部で作文の書き方についての学習をし、第二部で色々なテーマで作文を書きます。作文を書くために必要ないろいろなアイデアを出すため、学生同士で話し合う活動もします。				
第1週	4/10	オリエンテーション、自分について書く		
第2週	4/17	第Ⅰ部 第1課 レポートに使われる文体		
第3週	4/24	第Ⅰ部 第2課 文の基本 1、2		
第4週	5/8	第Ⅰ部 第2課 文の基本 3、4		
第5週	5/15	第Ⅰ部 第3課句読点の打ち方、第4課各種の記号の使い方		
第6週	5/22	第Ⅰ部 第5課 引用のしかた		
第7週	5/29	第Ⅰ部 試験		
第8週	6/5	第Ⅱ部 第1課 段落		
第9週	6/12	第Ⅱ部 第2課 仕組みの説明		
第10週	6/19	第Ⅱ部 第4課 分類		
第11週	6/26	第Ⅱ部 第一回試験		
第12週	7/3	第Ⅱ部 第5課 定義		
第13週	7/10	第Ⅱ部 第7課 比較・対照		
第14週	7/17	第Ⅱ部 第8課 因果関係		
第15週	7/24	第Ⅱ部 第10課 資料の利用		
第16週	7/31	第Ⅱ部 第二回試験		
教科書・教材等	『改訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』二通信子、佐藤不二子 スリーエーネットワーク			
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度 10%、提出物 15%、第Ⅰ部試験 25%、第Ⅱ部第一回試験 25%、第Ⅱ部第二回試験 25% 出席が 2/3 以下の場合成績が出ません。遅刻三回で欠席一回と考えます。 提出物は締め切りまでに提出したら 1 点、締め切りから一週間以内は 1/2 点、一週間以上遅れたら 0 点です。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。 やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の 90%となる。			

2019年度 前期	曜日・校時	木曜日 2校時・3校時	コマ数	2コマ
授業科目	中級II読解			
担当教員名	松本久美子	e-mail	Kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp	
授業到達目標	現代日本社会について書かれた様々な文章を読むことで、日本社会に対する知識を得る。また、語彙や表現等を増やし、中級後期レベルの文章を正確に読める力をつけることを目標とする。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
基本的に予習を前提に教科書に沿って授業を進めます。必ず予習して授業に来てください。また課毎に応用読解と文法の宿題があります。授業後半は前半の学習状況に応じて、「小説」か「N2読解文」を加えます。				
	月/日	2校時	月/日	3校時
第1回	4/11	オリエンテーション	4/11	第1課：色
第2回	4/18	第1課：色	4/18	第1課・応用読解
第3回	4/25	第2課：ユーモア・ジョーク	4/25	第2課：ユーモア・ジョーク
第4回	5/9	第3課：制服	5/9	第3課：制服
第5回	5/16	第4課：算数	5/16	第4課：算数
第6回	5/23	第5課：遊びと運動	5/23	第5課：遊びと運動
第7回	5/30	第6課：お金	5/30	第6課：お金
第8回	6/6	テスト①：1課～5課	6/6	応用読解
第9回	6/13	第7課：水	6/13	第7課：水
第10回	6/20	第8課：遺伝	6/20	第8課：遺伝
第11回	6/27	第8課：遺伝	6/27	第9課：漫画・アニメ・本
第12回	7/4	第9課：漫画・アニメ・本	7/4	第9課：漫画・アニメ・本
第13回	7/11	第10課：人と動物	7/11	第10課：人と動物
第14回	7/18	月曜日の授業	7/18	第10課：人と動物
第15回	7/25	応用読解	7/25	応用読解
教科書・教材等	『中級を学ぼう：日本語の文型と表現 82、中級中期』スリーエーネットワーク			
成績評価の方法・基準等	a. 授業への参加度 10% b. 宿題 10% c. テスト 80% (テスト① 40%・テスト②40%)			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc. 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2019年度 前期	曜日・校時	金曜日・2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅱ聴解			
担当教員名	小谷裕子	e-mail	yukoktn@ybb.ne.jp	
授業到達目標	ナチュラルスピードの音声から必要情報を的確に拾うことができる。聞き取った内容を正確に理解し、自分の言葉で再表現できる。また、表記することができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

様々な分野のニュース等を聞くことにより正確な聴解力を向上させるとともに、語彙力・表現力を高める。また、日本社会とその抱える問題について理解を深める。

第1週	4/12	オリエンテーション / plus 40 ㊦ (21) 回転寿司
第2週	4/19	(23) 名前の無い手紙
第3週	4/26	(24) あなたの成績は朝ごはん次第 / ビデオ『乱れた子どもの食生活』
第4週	5/10	(26) いちばん上の子は神経質？
第5週	5/17	(27) 結婚するなら年上？年下？
第6週	5/24	(28) 太鼓の響き
第7週	5/31	(29) 睡眠不足じゃありませんか
第8週	6/7	中間試験
第9週	6/14	(30) お菓子のおまけ
第10週	6/21	(31) 進化するロボット
第11週	6/28	(33) 日本を知らない日本人
第12週	7/5	(35) 若い登山家 / ビデオ『私が子どもだった頃：野口健』
第13週	7/12	(38) 屋上の緑化
第14週	7/19	(36) 変化する就職事情
第15週	7/26	(39) 英語力や資格は必要ですか / 総まとめ / 学生による授業評価
第16週	8/2	期末試験

注) 主教材の聴解に要する時間により、適宜副教材及びニュース等を使用して時間調整を行う。

教科書・教材等	「毎日の聞き取り plus 40 ㊦」凡人社（主教材） 日本語能力試験N2聴解関連教材（副教材）
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 20%、態度 10%、小テスト 20% 中間試験 20%、期末試験 30%
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	(例) 私的な理由 (ex. 旅行, 家族訪問 etc.) によりテストが受けられない場合は追試を認めない。やむを得ない理由 (ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係: 乗船実習, 研究発表 etc.) により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%となる。

2018年度 後期	曜日・校時	水曜日・2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級II漢字			
担当教員名	岩下真澄	e-mail	masumi430@icloud.com	
授業到達目標	今まで勉強した漢字を復習・整理しながら、新しい漢字の読みや意味を理解し、場面や文脈に合った漢字語彙が使えるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

各課18～19字の新しい漢字を学びます。翌週、小テストがあります。
その課で学んだ漢字を使ったグループワークを行い、漢字語彙の使い方を学びます。
毎回宿題があります。かならず宿題をしてから、授業に参加してください。

第1週	4/10	オリエンテーション
第2週	4/17	1課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第3週	4/24	2課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第4週	5/8	3課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第5週	5/15	4課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第6週	5/22	テスト(1) 1課～4課
第7週	5/29	5課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第8週	6/5	6課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第9週	6/12	7課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第10週	6/19	8課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第11週	6/26	テスト(2) 5課～8課
第12週	7/3	9課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第13週	7/10	10課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第14週	7/17	11課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第15週	7/24	12課 小テスト・「確認しましょう」・「考えましょう」
第16週	7/31	テスト(3) 9課～12課

教科書・教材等	『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙 超級編』 藤田佐和子著 ココ出版
成績評価の方法・基準等	課題 15%、小テスト 20%、テスト(1) 15%、テスト(2) 20%、テスト(3) 30%
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 <u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	(例) 私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合は追試を認めない。 やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係: 乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合は後日テストを実施するが、その場合、点数は獲得点数の90%となる。

**留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて**

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	CEFR (ヨーロッパ言語 共通枠) のレベル
初級 I	初級 前半	初歩的な文法・漢字（100 字程度）、語彙（800 語程度）を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1 A2-1
初級 II	初級 後半	基本的な文法・漢字（300 字程度）・語彙（1,500 語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 ・簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級 I	中級 前半	基本文法の応用ができ、漢字（700 字程度）・語彙（3,500 語程度）を習得し、一般的なことから、日常的な話題について、簡単な会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級 II	中級 後半	やや高度な文法・漢字（1000 字程度）・語彙（6,000 語程度）を習得し、少し高度な一般的なことから、日常的な話題について、会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級 I	上級 前半	高度な文法・漢字（1,500 字程度）・語彙（8,000 語程度）を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。		
上級 II	上級 後半	高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。	N1	C1 C2

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級 I (5 単位, 週 5 コマ)	中級 I 読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級 I 読解 (2 単位, 週 2 コマ)
初級 II (5 単位, 週 5 コマ)	中級 I 聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 I 総合 (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 会話 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 A (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 作文 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 B (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 C (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 II 読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級 II 総合 D (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 II 聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	日本語能力試験 N1 対策講座 (1 単位, 週 1 コマ)
	中級 II 会話 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級 II 作文 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級 II 漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 A (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 B (1 単位, 週 1 コマ)	

*週 1 コマとは、1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

(本ページのみ：2015/07/30 作成，2018/01/26 更新)